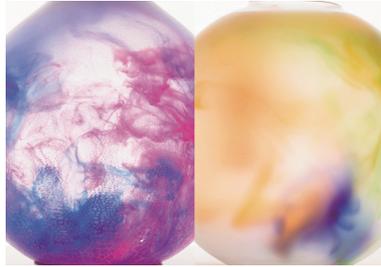


CONTENTS

No.279 2023年4月号 草月指導者連盟機関誌

32 26 23 21 20 15 10 4 2



『水に色をいける』

家元が水にインクを落とし色をいける。
目まぐるしく変化する色彩、
その一瞬を切り取るシリーズです。

表紙作品=勅使河原茜
表紙アートディレクション=永井裕明 (N.G.inc.)
表紙デザイン=前田由貴 (N.G.inc.)
表紙写真=金子親一
印刷=東洋紙業株式会社
制作協力=丸紅フォレストリンクス株式会社

だから、おしゃべりはやめられない 第87回「サブテーマ「線色塊」」
勅使河原茜の線色塊
支部活動報告
岡山県支部展／埼玉県支部展／熊本県支部展／神奈川県支部展
長崎県支部研究会／長野県支部研究会
百花万葉
学校いけばな
レビュー
第61回いけばな協会展／Miyuki Onitake Concert 2023 ～美しき永遠への誓い～
KITTE 10th Anniversary Special Events 「ういかぶ」／RE-BORN―造形花の可能性―／理事顧問昇格試験
花に感謝の日 2022年度各賞受賞者
インフォメーション 本部教室／草月WEST／2023年度本部講師・助手
カレンダー

草月いけばな展
花のソナタ

【会期】
2023年6月7日(水)～22日(木)

【会場】
草月会館2階・談話室

1期：6月7日(水)・8日(木)
2期：6月10日(土)・11日(日)
3期：6月14日(水)・15日(木)
4期：6月17日(土)・18日(日)
5期：6月21日(水)・22日(木)

※各期2日間、5期制 ※断続的開催

〈入場無料〉
水・土曜日は10時30分～19時
木・日曜日は10時30分～17時
※入場は閉場30分前まで

○草月

“自作花器にいける”初夏の草月いけばな展を開催します。

〈家元作品展示〉6月7日(水)～24日(土) 草月会館5階・日本間

監修：勅使河原茜家元 主催：一般財団法人草月会 企画運営：草月会事業部事業課

※天災及びその他不可抗力による事由により、草月いけばな展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。

お問い合わせ [事業課] TEL：03-3408-1156 / FAX：03-3405-4947 / E-mail：kikaku@sogetsu.or.jp

今年の桜の開花はいつに無く早く、3月22日には東京都心で全国で最初の満開が観測されました。これは観測史上2位の記録とのこと。背景にある温暖化や、すぐにでもやってきそうな猛暑のことを考えると複雑な気持ちにもなりますが、やはり春の訪れは心が浮き立ちますし、何か新しいことに挑戦したくなるものです。ヽ

だから、おしゃべりはやめられない
勅使河原茜

サブテーマ「線色塊」

思います。そこで今年度はこのテーマをさらに深く掘り下げるため、「線色塊」というサブテーマを設けました。

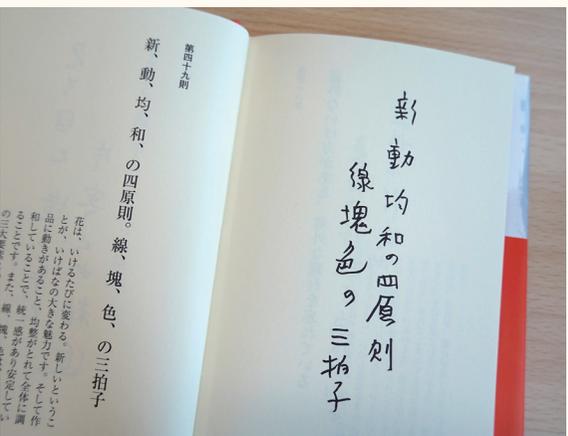
「線」色「塊」は、いけばなを構成する三大要素です。『草月カリキュラム3』のテーマにもなっていますので、草月を習っている方であれば、きっと幾度となく耳にしていることでしょう。枝の伸びやか、

レーションをしたりするときは、よく「線色塊」を登場させています。いけばなの鑑賞方法が分からないという方にも、この説明は分かりやすく、効果的だと思います。

「線色塊」は、初心者の方にとっては取り組みやすく、ベテランの方にとっては追究してもしきれない、非常に深みのあるテーマです。普段のお稽古においても、花型が好きという方もいれば、自由花が好きという方もいるでしょう。しかし、ひと口に自由花と言っても、ただ何も考えずにいけると、「線色塊」を意識していけるのでは、まるで違ってきます。たとえば「今日は線」を意識してみよう、「次回は思いきって線色塊」の全てを取り入れることに挑戦してみよう」といった具合に、あえて課題として設けていけると、より深く学ぶことができるはずです。ベテランになればなるほど技術は向上しますが、手が勝手に動くといえますか、その花材に対してのいけ方が決まってしまう場合がありません。そんなときこそ「線色塊」を意識し、植物とじっくり対話してみてください。その結果、いつもとはまるで違う作品になることもあるでしょう。それこそがいけばなの醍醐味ですし、自分の表現の幅を広げるきっかけにもなるはずです。指導者の皆さん、

ちょうど1年前、『草』2022年4月号で、創流100周年に向けたテーマとして「草月ってなんだろう?」What's SOGETSU?」を発表しました。その後、昨秋に開催された草月いけばな展でもこのテーマを掲げ、素晴らしい作品が出品されました。きっと皆さんそれぞれが、「草月ってなんだろう?」ということを真摯に模索してくれているからこそと

な線を強調したり、花の色をきわ立たせるために配色を工夫したり、花を密集させてボリューム感をもたせたりと、「線」色「塊」の二つの要素を意識しながら構成することで、作品はでき上がります。いけばなというものが何たるかを説明するのに、これほど分かりやすく伝えられる言葉はありません。私も特に初心者の方に向けて指導をしたり、デモンスト



『草月五十則』にも登場する「線色塊」は草月いけばなの基本であり、作品に深みを持たせるテーマです。ぜひ、日頃のお稽古の中に取り入れてみてください。

ぜひこのテーマを改めてお稽古に取り入れてみてください。

今年度は本部教室や草月WESTでも、複数の授業でテーマとして取り上げますし、この『草』誌上でも今号から3号連続で触れていきます。「なぜ今さら?」ではなく、100周年を数年後に控えた今だからこそ、草月いけばなの原点でもある「線色塊」と改めて向き合ってみてください。もちろん私も皆さんと同じ熱量で取り組んでいきます。

勅使河原茜の 線色塊

「草月の花の新しさは、線を発見したということである。」と初代家元・蒼風は説いています。それまでのいけばなは、大自然の風景を表現することに重きを置いたものが主流でした。しかし蒼風は、植物の「線」というものを造形的な要素の一つとして捉え、その美しさを自らの力で引き出し、主張することを提唱しました。そこがセンセーショナルだったのです。

植物の線は一本一本まるで異なるもの。それ自体が持つ美しさをいかすこともできますし、自在に変えることもできます。私は植物ならではの動きのある、悠々とした力強い線に惹かれます。これほど自分をワクワクさせ、喜ばせてくれるものは他にありません。だからこそ、まず念頭に置いているのは、植物に無理をさせないということ。時には大胆にためたり、折りだめをしたりすることもありますが、あまりに作意的にならないようにし、どうしたらこの線がさらにいきいきと躍動するかを常に意識しながらいけています。これは私の嗜好なので、正解ということではありません。緻密に計算し、まるで植物ばなれた無機質な線を創り出すことも、草月のいけばなは可能です。自分独自の線を引き出して、自己を表現する。「自分の線を持つこと」が大事なのです。

2023年度のサブテーマ「線色塊」。

草月いけばなの根幹にあるこのテーマを、茜家元作品とともに紐解いていきます。今号では「線」を、次号280号は「色」、281号は「塊」をご紹介します。



口元から伸びやかに立ち上がるイキシアの線を意識した作品です。そして、花器のぼつりとしたフォルムと赤い模様が、まるでフリージアの曲線とリンクしているかのようです。花材と花器を連動させることで、それぞれが持つ艶やかでやわらかな線を、より優美なものへと昇華させました。

花材：イキシア、フリージア 花器：ガラス花器（岩田久利）



とさみずきを折りだめし、ひとつの空間を造りました。
その空間にはとさみずき独特の細やかな小枝の線と花をちりばめ、あたかも風になびいているかのような表情を。
しなやかに垂れ下がるグロリオサの茎の線との対比も楽しみました。

花材：とさみずき、グロリオサ、胡蝶蘭 花器：自作ガラス花器
(季刊『草月』2022年夏号 掲載作品)

直線、曲線、太い線、細い線……と、いくつもの線の要素がある作品です。
まっすぐな桜の枝の力強さをいかにため慎重に整理し、
横に泳ぐようなリズムミカルな線も創出。
この作品の場合は、どれくらい葉を残すかも重要になります。
葉のついていない細い線、切り口をあえてみせた上部で、ちょっとユニークに。

花材：八重桜、アリウム、ギガンチウム 花器：陶器花器

（機関誌『草』2022年6月号掲載）



岡山県支部展

「私の花」水を使わない...

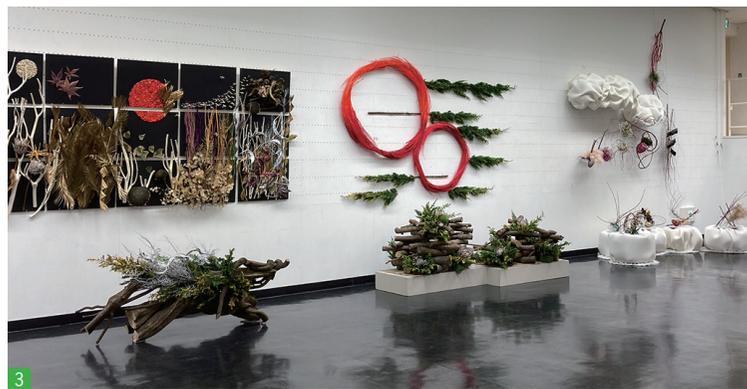
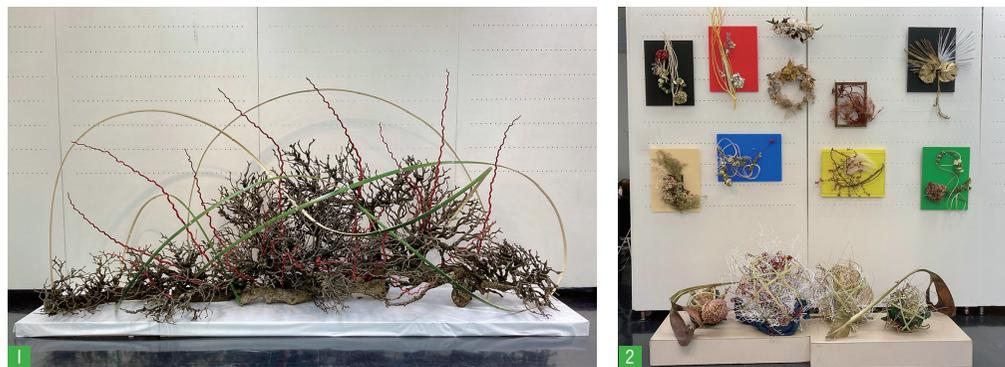
1月17日～22日
岡山県天神山文化プラザ

いけばなの楽しさを

岡山市の中心部にあり、文化の発信拠点となっている岡山県天神山文化プラザにて、岡山県支部展が開催された。

今回のテーマは、「私の花」水を使わない...。とし、いつもの生花をメインにいろはる花展から一歩踏み出し、挑戦を意識するものとした。搬入時やいけこみ時の混雑を回避するため、各々が事前に準備したものを会場で仕上げるようにし、このテーマのメリットをいかした。コロナ禍で活動が制限され、耐え続けてきた間の思いをぶつけるように、いけばなをすることの楽しさや喜びを、広い空間をいかして自由に表現した。

水を使わないということ、枯れものを中心としながら、異質素材、壁作品なども取り入れ、緩急のある構成に。さらに着色花材も多用し、目にも楽しい展覧会となった。



1 尾高肇江社中による合作。
2 3 4 5 6 広々とした会場に並んだ、創意溢れる作品の数々。水を使わないいけばな展は一昨年、コロナ禍でも実現可能な展覧会として草月会館でも開催され、大きな反響を呼んだ。

埼玉県支部展

花笑う(家元出品)

1月27日～29日
さいたま市民会館おおみや
RaBoC Hall

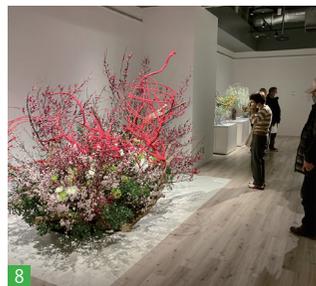
新たな場での挑戦

昨年4月にオープンしたばかりの大宮駅再開発のシンボル、さいたま市民会館おおみや RaBoC Hallにて、家元出品のもと、埼玉県支部展が開催された。

元々は2020年に支部創立30周年記念の展覧会を計画していたが、コロナ禍のために中止に。今回は待ちに待った支部展でもあった。花席は99席を用意したが、締め切りまで一週間を残して満席に。この支部展にかける会員の思いの強さが窺えた。会場はスケルトン天井になっており、モダンで開放的。いけばなの持つ力、楽しさを熟知した会員が、各々の思いを作品に込めて爆発させた。家元の大作は、藤づる、さんしゅゆ、れんぎょう、まんさく、ぼけ、椿で春の息吹を注入。大寒の厳しい寒さが続く中、来場者に心温まるひと時を届けた。



1 家元作品。
2 岡本和架支部長の作品。
3 小沢清香さんの作品。
4 佐々木青舟県委員の作品。
5 白鳥水洵県委員の作品。
6 歴代支部長の作品。
7 8 新しい会場に、作品がよく映える。



熊本県支部展

一歩前へー思いをつなぐー

2月24日～26日
熊本市民会館シアーズホーム
夢ホール

前に進むために

熊本城のほど近くに立地し、熊本県人ならば誰もがなじみのある熊本市民会館にて、熊本県支部展が行われた。

会期が正式に決定してから開催までの期間が短かったこともあり、急ピッチでの準備が求められたが、搬入からいけこみまでの流れもスムーズに進み、出品者はそれぞれの花席で丁寧かつのびのびと制作に励んだ。2階の会場では、中心部と壁面の作品とで高低差をつけ、全体を見渡ししやすい構成に。花席は1階、2階ともにパステル系の色味で統一し、出回り始めた春の花材とともに、会場内を優しく、穏やかな空気で包んだ。

厳しい状況が続く中、現状を受けとめ、前に進めることを重視した本展は、会員の意欲を再び駆り立て、次の段階への思いをつなぐものとなった。



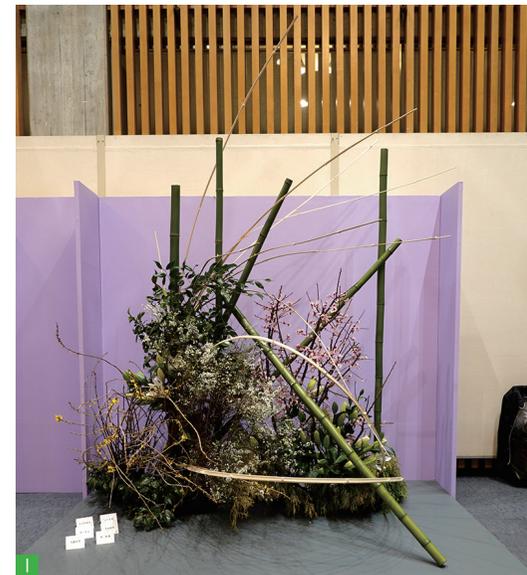
2



3



5



1



4



6

- 1 佐分利彩苑支部長、大森和芳さん、堀歌凛さん、森川恵風さん、山口宝桜さん、吉本恭葉さんによる合作。ゆきやなぎとゆりのみ花屋で購入し、あとはすべて会員が調達した。
- 2 佐分利彩苑支部長の作品。
- 3 上村春洸さん、川口秀水さん、福元吏さん、由井孝昌さんによる合作。
- 4 会場風景。手前は末武瑠葉さん、山口宝桜さん、山口夢花さんによる合作。
- 5 6 会場風景。

神奈川県支部展

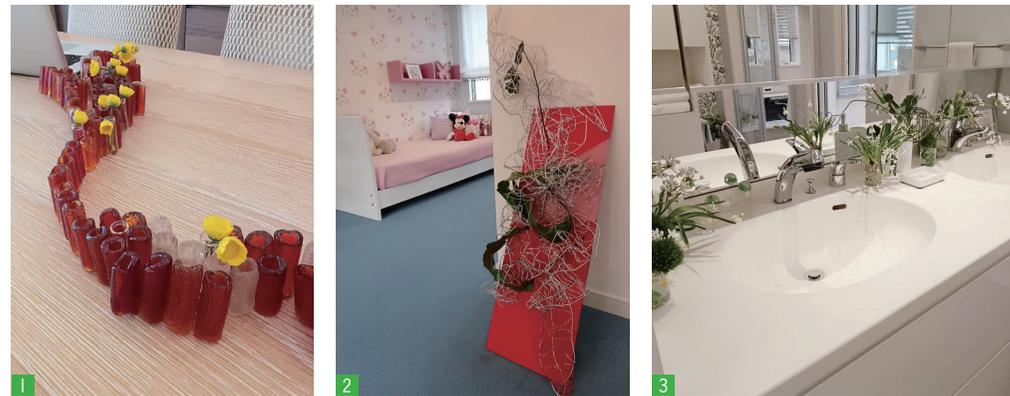
小さいいけばな展

2月25日・26日
tvkハウジングプラザ横浜三井
ホーム

場に合わせ、場をいかす

もともとコロナ禍前に企画され延期になっていた、待望の神奈川県支部展が開催された。支部会員がより地元に近い場所での表現の場を広げられるようにという意図から、会場には横浜のハウジングプラザ内のモデルハウス3棟を選定した。

今回の見どころは、最新のデザインを駆使した間取りの中に、いかに草月流の作品をその場にいきた形で表現できるかという点。出品者には「場にいける」を理解することを条件とし、サイズ・点数の制限は敢えて設けないこととした。会場となる各棟のコンセプトを理解し、設えを吟味した作品となるよう下見を促し、制作に関するアナウンスを積極的に行った。「場に合わせ、場をいかす」挑戦は、見事に空間と調和。担当者からも好評で、一部の作品は会期後も引き続き展示された。



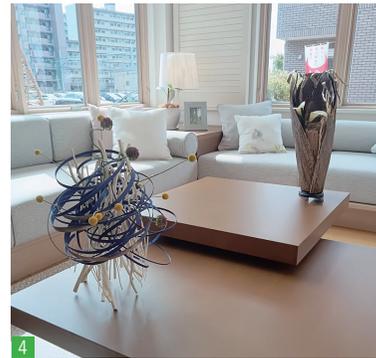
1



2



3



4

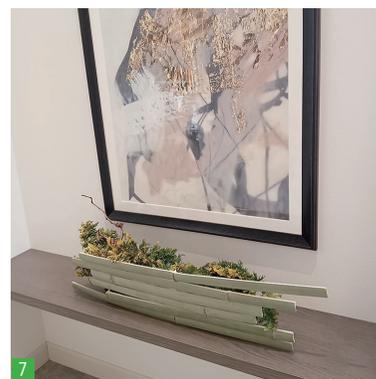


5



6

- 1 篠田岳青支部長の作品。
- 2 孝治蓮唱さんの作品。
- 3 松井彩紅さんの作品。
- 4 三島清香さん(左)、磯辺秀幸さん(右)の作品。
- 5 小林美雪さんの作品。
- 6 藤田明美さんの作品。
- 7 内村苑志さんの作品。



7

入学式の迎え花

2022年4月7日
福岡県立修猷館高等学校
山口松苑・山口岳峰



勇気と希望を胸に新しい出発となるよう願いをこめてつけた。この場所での迎え花は初めてということで、喜ばれ

老人ホームにいける

2022年4月4日
奈良(大和高田市)／平沼寮
岡橋雪星



老人ホームの竣工式の祝い花をいける。未来が明るく、さらに飛躍できるようなイメージで制作し、喜ばれた。

高知城 花回廊

2022年4月1日～3日
高知城 高知公園
草月9名



花と灯りが織りなす「なごみ」の世界。今回は「粋」をテーマに、15流派による大作と土佐和紙の灯籠が並ん

いけばな神戸展 —はるがきた—

2022年4月7日～9日(前期)、10日～12日(後期)
兵庫／大丸神戸店
草月7名 写真作品:大向佐都(左)、武田紀翠(右)



「はるがきた」をテーマに、兵庫県いけばな協会加盟の各流派が出品。初日には長蛇の列ができていた。

中平美彦・陶うつわ展

2022年4月5日～11日
東京都(中央区)／日本橋高島屋S.C.
諸岡萌昇・畠山知香



日常使いの食器や花器の展示会に花を添える。使い方がイメージできるように、花器に合わせて10点ほどの

アトリエZenKichi 7人展

2022年4月1日～4日
富山県民会館 地下展示場
竹嶋幸紀 幸花グループ



2年に一度行われる7人展。今回は100本のラップバズいせん。2ヶ月かけて編んだねこやなぎの籠などを使っ

壁を彩る植物たち —異質素材と植物の融合—

研究会のテーマは「壁を彩る植物たち—異質素材と植物の融合—」。本部講師の片山健さんの指導のもと、異質素材と植物、そして壁作品というテーマに会員一同奮起し、真剣に、積極的に取り組んだ。制作後は片山さんから一人ひとり講評があり、たくさんの気づきのある研究会となった。会場は多くのイベントやコンサートが開かれるホールのギャラリイとして展示。たくさんの来場者の目を楽しませた。



1 片山健さんによる竹ひごを使ったデモ作品。
2 3 4 会場全景。

長崎県支部研究会

2022年7月4日～9日
長崎ブリックホールギャラリー

美術館にいける「場にいける・水のないいけばな」

今回の研究会は、美術館内の作品保護のため「水・花木の使用不可」とされた。そこで素材を、ダンボール、麻布、テグスに決定。コンセプトは『対比』、「いけばなの可能性は∞(無限大)」とし、本部講師の中田和子さんの指導のもと制作に励んだ。苦労もあったが、持ち寄ったデッサンをもとにスムーズに制作し、充実した研究会となった。



1 同美術館に常設の茜家元によるオブジェに中田さんが素材をいけた。2 制作風景。3 Bグループの作品。4 Aグループの作品。5 Cグループの作品。

長野県支部研究会

2022年11月6日
北野美術館

伝統文化交流館の発表会

2022年3月19日～21日
東京/港区立伝統文化交流館
平嶋英宝・矢野嶺宝 他9名



日本の伝統文化の芸人を招き、日舞謡曲などが行われた場の随所に草月の花をいけ、見学の方々に喜ばれた。

木(boku)+hana展

2022年3月19日～21日
大分/さいき城山桜ホール
佐倉洋佳社中



hanaシリーズの第4弾。木(boku)を素材にした壁作品を中心に展示した。好評につき別の場への貸し出し依頼も。

「花散歩」K-スタジオの仲間たち

2022年3月12日・13日
北海道/札幌市民交流プラザSCARTSスタジオ
金井恵秋社中17名



1年間の稽古の発表会として開催。写真は着色竹、れんぎょう、ゆり、ストレリチアなどを使った金井さんの作品。

卒業式の花

2022年3月18日
鳥取/米子市立加茂小学校
名越清節他3名



コロナ禍のため、学校ではなく事前に花屋でいけるといふ異例の試み。規模を縮小しての式にせめてもの花を添えた。

The 24th Atlantic Canada Japanese Language Speech Contest

2022年3月12日
カナダ/Saint Mary's University
Miyako Ballesteros 虹都



日本語によるスピーチコンテストにて。チームの中で中継だったが、いけばなが会場を華やかに盛り立てた。

伊丹いけばな展

2022年3月12日・13日
兵庫/伊丹市立図書館ことば蔵
中務美泉・宮崎千泉・岡田信泉



伊丹市いけばな協会と伊丹市が主催し、毎年開催している展覧会。コロナ禍のため縮小し、図書館での開催となった。

社内展

2022年3月28日～4月3日
埼玉(川口市)/前澤工業株式会社
前澤工業株式会社華道部



2年ぶりの開催。入社式に合わせ会社玄関に展示。4回目ということもあって皆上達し、社員・来客に好評だった。

「あそぶ」

2022年3月30日～4月2日
東京/世田谷美術館 区民ギャラリー
あそぶ会(落合春翠・片柳美光・桃井珀樹・米澤悠星・渡辺彩花)



世田谷美術館の区民ギャラリーを借りての造形展。花や水を使えない会場で、5人がそれぞれの個性を發揮した。

日本国際文化交流

2022年3月22日～24日
アメリカ(テキサス州)/GLENEAGLES COUNTRY CLUB
国領紀子・樋口千秋・堀田典子・山口とくえ



日本文化交流会に参加。デモやワークショップ、作品展示などを通じて、多くの方が草月のいけばなを楽しんだ。

スペインでのいけばなセミナー

2022年3月27日
スペイン(バレンシア州)/BonsaiZen
北田紅桃



盆栽といけばなのカルチャー教室の招待で、いけばなセミナーを開催。現地の花材を使ったデモと体験教室が大好評。

第32回ぐるーぷ紅の会いけばな展

2022年3月20日・21日
愛知/やねのっぽうホール豊川
ぐるーぷ紅の会



コロナ禍の不安の中、「みんなで手をつなぎ羽ばたこう」のテーマに基づき、久々の花展に前向きに取り組んだ。

音をいける～ピアノといけばな～

2022年3月22日
滋賀/近江神宮内近江勤学館
平石丹珠萌・平石丹珠門



「百人一首かるた」ゆかりの近江神宮勤学館にて、1時間ほどデモンストラーションとピアノ演奏の共演を行った。

Hālau Kawaianuhealau'e Christmas Hō'ike

2021年12月5日
福岡(北九州市)／守恒みらいホール
伊庭翠雅



フラダンスチーム結成10周年記念のクリスマス発表会で、ハワイのクリスマスイメージした作品をいけた。

お正月花

2021年12月26日～2022年1月10日
奈良(橿原市)／ぼれぼれケアセンター白樫
徳本星佳・早川邦篤



お正月の晴れ着の雰囲気も味わってみたいと、着色そでつを使って表現。毎年楽しみにしてもらっている。

西日本華道連盟第71回いけばな展

2022年3月9日～14日
大丸福岡天神店本館8階催場
福岡県支部会員38名 写真作品: 為永春峰(左)・松尾恭昭(右)



「大丸本館8階で花あそびしませんか?」と題し、14流派が出品。出品者数は草月流が最多となった。

卒業式

2022年3月11日
岐阜／多治見市陶磁器意匠研究所
古田静波



卒業制作展で賞に輝いた花器にいける。「作陶するうえでいけばなはとて大切」と研究生は稽古に励んでいた。

いけばなデモンストレーションとお正月花講座

2020年12月25日
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 母屋
新田陸嘉



要望により、デモを行ってからは、皆さんに花をいけていただく会を開催。参加者の興味を引き、歓声が上がった。

駅を彩る

2020年4月
宮崎／JR日豊本線佐土原駅
坂元清草



花材は胡蝶蘭、つわぶき、デンファレ、自宅のしゃりんばい。新年度に新たな気持ちで皆が頑張れるようお願いを込めて。

京都・東山花灯路

2022年3月4日～13日
京都／円山公園周辺寺院門前
花崎陽文



20年続いた花灯路も残念ながら今回で終了に。コロナ禍での開催だったが、多数の方々で賑わっていた。

受賞記念いけばな展

2022年3月5日・6日
佐賀／奏楽庭
前田寿節社中



前田寿節先生の内山文化賞受賞を記念し、社中でいけばなをプレゼント。花に囲まれてのピアノ演奏もあった。

中国の草月人にデモとワークショップ

2019年11月24日
東京
大谷美香



草月いけばな展を鑑賞するために中国全土から東京を訪れている方々にデモとワークショップを実施した。

鎌倉駅に

2020年9月29日～10月1日
神奈川／JR鎌倉駅構内
上原瑞光



平安貴族の乗り物だった御所車の花入れに、平安朝の色合いの織物で、古代の雅を演出。花は洋のもので軽やかさを。

お正月献花

2021年12月29日～2022年1月9日
京都／吉田神社
武田玲雪



節分祭が有名で、自身の氏神でもある吉田神社に献花。花材は大玉松、ストレリチア、葉ぼたん、千両、藤づるを使用。

陸前高田市芸術文化協会創立50周年記念式典ステージいけばな

2022年2月13日
岩手／陸前高田市コミュニティホール
松田邦子社中



竹、市の花である椿などで制作。竹は節を斜めに切って、切り口を笑顔に見立て、縁起のよい雰囲気。



新宿高島屋にて「第61回いけばな協会展」が開催。流派を超えたこの展覧会に、草月流から勅使河原茜家元をはじめ多数の作家が参加した。

ゴールドに着色した竹、もくれんぼけ、ゆきやなぎ、椿などをいけた家元作品。鏡面のステンレス水盤に春が映る演出。

第61回いけばな協会展
3月8日～13日
新宿高島屋

春、爛漫



コンサートの様子。ステージ右には家元のいけた花が。

ピアニスト・鬼武みゆきさんのコンサートに家元がゲスト出演し、演奏にあわせてデモンストラーションを披露した。今回のコンサートのテーマは「平和への祈り」。東日本大震災以降、チャリティアクト活動を鬼武さんとともにやって

Miyuki Onitake Concert 2023
〜美しき永遠への誓い〜
3月24日
草月ホール

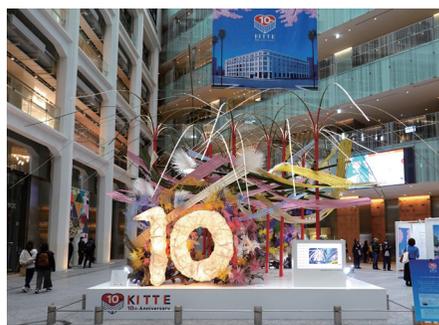
平和への祈り



(左) 鬼武さんと家元。(右) 茜ジュニアクラスによる作品。タペストリーは森日出夫さんの写真。



きた写真家・森日出夫さんによる写真と、茜ジュニアクラスによる作品がホールホワイエに展示された。加藤登紀子さんや宮沢和史さんといった豪華ゲストも参加し、「美しい自然、地球が永遠であるように」との願いが音楽に込められた、特別な一夜となった。



KITTEアトリウムに展示された装飾「ここから」。

東京駅のすぐ近くに位置する商業施設「KITTE」が開業10周年を迎え、祝祭を彩る記念装飾を草月アトリエが手がけた。「ここから」と題されたこの作品、カラフルな竹は楽しいヒト、モノ、コト。林立する赤い竹はエネルギーの源。そこから放射状に各地へ広がっていく様子を表した。「10」を象った行灯が優しく灯り、引き寄せられるように多くの人が足を止めて楽しんだ。

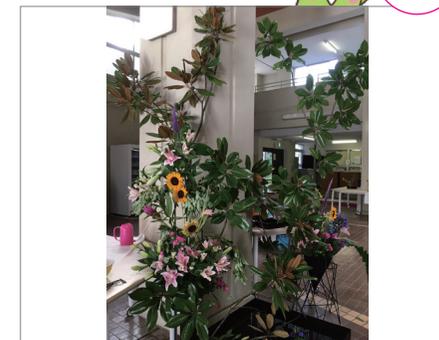
KITTE 10th Anniversary
Special Events 「10」から
3月17日～4月2日
KITTEアトリウム

祝祭を彩る

● 学校いけばな

たいさん木を使って

神奈川県立元石川高等学校
指導：長谷川祐子



わー！立派なたいさん木

2022
9/10
～11

3年ぶりの文化祭。華道部員にとって初めての展示＆体験する文化祭でした。合作は学校のたいさん木を使い、やはり初めての合同制作で完成させました。

華道部展

岩手県立盛岡第三高等学校
指導：古館紫映



2022
10/1
～2

コロナ禍のため3年ぶりとなった華道部展。公共施設での展示のため、在校生、卒業生ほか、多くの方にご覧いただきました。地元新聞への掲載も。

3年ぶりに

東京都立八王子東高等学校
指導：山口霧香



合作

2022
9/3
～4

3年ぶりに合作制作、人数制限の中一般公開ができました。合作では鉄花器3つを使って、各花器の花を印象的に仕上げ、各々が呼応するようにしました。

芸術祭開催！

富山県立呉羽高等学校
指導：村上史瑛



写真は3年生の作品だよ

2022
9/9
～10

1年生は花型法を、2、3年生は、事前にデッサンを描き、個性を発揮して、思いついた作品をいけました。全員の笑顔が輝いていました。

卒業式の花

奈良県立生駒高等学校
指導：早川邦暁



2022
3/1

毎年、2年生と1年生の華道部の生徒たちが、卒業式の花をいけています。今回は色とりどりの花々を使い、可憐で、清らかな作品になりました。

文化祭

福井県立武生東高等学校
指導：藤井春典



2022
9/2
～5

生徒たちが楽しむことをモットーに指導しています。今回は「鶴の舞う星」というタイトルで、越前和紙で作った鳥を作品に取り入れました。

空間・環境にいける

RE・BORNー造形花の可能性ー
2月3日〜5日
アーツ千代田 3331

「アーツ千代田 3331」は旧千代田区立練成中学校を改修して誕生した文化芸術施設。地域に開かれたアートセンターにて、本部講師の川名哲紀さんが担当する「今だから、造形花（いけばな）」第7期研究科卒業展覧会「RE・BORNー造形花の可能性ー」が開催された。「もとは学校であるこの空間環境が、植物という命をもった天与の素材と生き生きとした作者の創造力によって、新鮮なものへと変



入り口のウッドデッキに展示された作品。



空間をダイナミックにいかしたり、もと学校の独特な構造をいかしたりした作品が並ぶ。

わっています。開催にあたり発表された川名さんのメッセージの通り、研鑽を積んだ受講生は、この場を大いに楽しみ呼応した造形花を披露した。

最高位を目指す

理事顧問昇格試験
1月27日・草月会館
1月29日・草月WEST

理事顧問昇格試験が実施され、理事24名、顧問32名が受験した。コロナ禍のため、今回も自宅での受験も可能に。受験生たちは、草月流師範の最高位を目指すし、花型図・論文・実技試験に臨んだ。

「昇格試験問題」

花型図

- 東京・理事／丸水盤にいける時の第一応用傾真型逆勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、花型の特徴、主枝の方向と角度、剣山の位置、従枝をいれる時の心得を説明して下さい。
- 東京・顧問／丸水盤にいける時の基本傾真型本勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、花型の特徴、主枝の方向と角度、剣山の位置、従枝をいれる時の心得を説明して下さい。
- 草月WEST・理事／丸水盤にいける時の第三応用立真型逆勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、花型の特徴、主枝の方向と角度、剣山の位置、従枝をいれる時の心得を説明して下さい。
- 草月WEST・顧問／丸水盤にいける時の第二応用立真型本勝手の花型図（立面図及び平面図）を描き、花型の特徴、主枝の方向と角度、剣山の位置、従枝をいれる時の心得を説明して下さい。

論文

- 蒼風花伝書・草月五十則の中の次の文章について、あなたの解釈を述べて下さい。
- 東京・理事／いけるといけるのは、字に書いてみれば造形（いける、変化（いける、といったこと）なのだ。いかに、造形たか、いかに、変化たか、ということが問題なので、ここに急所といったようなものがある。（蒼風花伝書）
- 東京・顧問／花が美しいからといって、いけばなのどれもが、美しいとは限らない（第一則）
- 草月WEST・理事／心が先で、手が後である。（蒼風花伝書）
- 草月WEST・顧問／花は大切にすること、花は惜しまぬこと（第二十三則）

実技

- テーマ：剣山なしで水盤にいける（共通）
- 東京・理事／花材…さんしゅゆ ●東京・顧問／花材…とさみずき
- 草月WEST・理事／花材…さくら ●草月WEST・顧問／花材…まんさく

花に感謝の日 2022年度各賞受賞者

「花に感謝の日」が3月31日に草月ホールにて開催された。献花台はホールホワイエに設け、代表として家元がステージ上で献花を行った。各賞を受賞された皆さま、誠におめでとうございます。

（以下、各受賞者。敬称略）



授賞式の様子。草月日輪賞受賞を代表してスピーチをする高木水染さん。

- 【第103回草月いけばな展 新人賞】
大藪彩芳 田中秀萌 御手洗直己
村越大嶺 柳澤星芽
- 【優秀SYC賞】
SYC北海道1 SYC宮城4
SYC東京1 SYC福岡
- 【優秀支部賞】
茨城県支部 岡山県支部 香川県支部
埼玉県支部 宮崎県支部 山梨県支部
- 【草月作品賞】
●荒木香優グループ
華あそび2022〜花はいけたら、人になる〜
●「ARITAXSOGETSU」やまものといけばなに
よる新しい芸術表現の創造「内藤華了・後藤
麗美・平井夏光・齋藤庭梨」
- 上田草月花展「はなあそび」
- 「氏家雛めぐり」に合せた 木村爽陽 野外
竹アート
- 小澤恵子社中 テキスト・おさらい展
- 「木こりのカフェと草月のお花〜草月ってなん
だろう〜」草月会島根県支部西ブロック
- 結成70周年記念 第36回草月流うづぎ会展
- 四季の会いけばな展
「城端別院 善徳寺にいける」
- 昌綾会 花展 天池昌綾先生 卒寿を祝つて
- 草月流陽の会 2022レリーフ展
- 第一回 赤平寿桂社中展
- 第32回ぐるーぷ紅の会いけばな展
- 第34回 今立現代美術紙展
いけばな草月流 越前和紙をいける
- 第6回草月流いけばなdeTELジュ
から KIRA キラ展
- 「めぐりあご」
森田流明・菅秀加・吉田紀和・土井有加
- 【草月奨励賞】
相澤喜雲 宇多村光翠 落合春翠
久保田芳生 齊藤静草 筋野美紅
野村浩秋 濱田成光 林珀凜 平井夏光
福本丹恵 松山秋喜 吉村結花
- 【第22回AT賞】
大須洵節 平野瑞晶 古川丹萌 松山秋喜
山本永華
- 【草月日輪賞】
足立虹秀 伊藤玉峯 伊東安子 太田秋玲
小野微洋 木島玉梢 坂本右寿 坂本翠陽
酒寄蘭染 佐藤双寿 佐東穂羊 高木水染
田中杏昇 根井翠松 林郊華 水谷星翠
渡辺華芳 鈴木友穂 Joan T. Yusuji Suzuki
Junko Matsuka 李張玲月 三上清子

〈特別企画展〉

藍十茜 Indigo and Akane

2023年5月14日(日) - 18日(木)

10:00 - 17:00

草月会館5階 日本間

「BUAISOU (ぶあいそう)」は、徳島県を拠点に藍の栽培から染色、仕上げまですべてを一貫して行っている、世界が目にする若き藍師・染師たちです。勅使河原茜家元とBUAISOUのタイアップ展が実現。いけばなと藍の作品が日本間を占拠します。普段とは異なる空間をぜひご覧ください。

●BUAISOU POP UP STORE

期間中2階談話室では、BUAISOUの藍染商品の販売や、藍を使ったドリンクをお楽しみいただけます。

お問い合わせ [出版部 編集制作室] TEL : 03-3408-1158 / E-mail : info@sogetsu.or.jp



「くさかんむり」がやってくる!

茅葺き×いけばな ワークショップ

2023年5月7日(日) 10:00~17:00(予定)

- 参加資格 どなたでも(草月流を学ばれている方は、資格を問わず参加可能です)
- 講師 相良育弥(株式会社くさかんむり)、中田和子(草月流本部講師)
- 会場 草月会館1階・草月プラザ(東京都港区赤坂7-2-21)
- 受講料 16,000円(税込) ※材料費・昼食代含む
- 定員 50名

くさかんむりは、兵庫県神戸市で古民家や文化財などの茅葺き屋根の修復や、現代的な茅葺き建築にも挑戦している職能集団です。くさかんむり代表の相良育弥さん指導のもと、茅葺きの技術を体験しませんか? 茅を葺いて花と融合させるワークショップです。いけばな監修は本部講師の中田和子さん。二人によるトークショーも予定しています。

季刊『草月』最新号(2023年春号)にて、くさかんむりの特集を掲載しています。彼らの挑戦を、ぜひ誌面をご覧ください。

お問い合わせ [事業課・藤崎] TEL : 03-3408-1156 / E-mail : sogetsu2020@gmail.com



展覧会ハガキ・チケットのご案内



ハガキのデザイン見本。
色は変更可能、裏面に展覧会情報が入ります。

支部展や社中展などでご活用ください!

【お申込み方法】

- ①出版部までご連絡ください。お申込み用紙をメールまたはファックスにてお送りします。
- ②お申込み用紙にタイトルや日時などの展覧会内容を記入し、出版部へお送りください。
- ③記入内容をもとに、レイアウトデザインします。
- ④デザインのチェック。記入した内容が入っているか、ご確認ください。
- ⑤完成したデータをお送りします。

●ハガキ

ハガキのデータ制作(表・裏合わせて)	14,300円(税込)
オプション:地図作成(1点)	2,200円(税込)

●チケット

チケットのデータ制作(表面のみ)	8,800円(税込)
------------------	------------

●ポスター(ご希望のサイズでお作りします)

ポスターのデータ制作	8,800円(税込)
------------	------------

〈展覧会を応援! お得なセット割引〉

ハガキとポスターのセット制作	19,800円(税込)
----------------	-------------

お問い合わせ [出版部・編集制作室]
TEL : 03-3408-1158 / FAX : 03-3405-4947
E-mail : info@sogetsu.or.jp

草月文化活動支援基金への
ご協力ありがとうございます
2023年1月~2月に当基金に
寄せられた寄付金は、左記の通りで
す。(掲載は二万円以上、敬称略)
秋山美晴、平野瑞晶、Shelley
Galloway、SYC東京1、竹之内昇
紀、小澤恵子社中、杉本青門、斉藤比
尋、金田紫星グループ、埼玉県支部、
「今だから、造形花」第七期研究科、
静岡県支部、栗林笑子、綿貫みよ子、
十字蕾肖、市川早苗アトリエ晃澤田
晃映、神奈川県支部

訃報

高橋康珠さん(茨城県ひたちなか市、師範会理事)は、「第25回国際公募アート未来展」にて、奨励賞(彫刻部門)を受賞しました。
古家賀苑さん(神奈川県川崎市、師範会理事)は、「第56回かわさき市美術展」にて、審査員特別賞(工芸の部)を受賞しました。
猿子滋苑さん(岩手県紫波郡、師範会理事)は、永年にわたり地域文化の振興に尽力し顕著な功績を上げたとして、文部科学大臣より地域文化功労者表彰に選ばれました。

小野寺乃富子(映雪)北海道/理事 二〇一六年
熊谷トシ子(寿交)宮城県/理事 二〇一九年
小林恒子(昌珠)神奈川県/理事 二〇一〇年十一月九日 享年九十四歳
高橋松子(玉生)東京都/顧問 二〇二一年九月三十日 享年九十二歳
権田千代子(紫苑)埼玉県/理事 二〇二三年五月二十九日 享年百四歳
白木純子(歌純)熊本県/理事 二〇二三年九月十八日 享年九十三歳
相原文美代(美芳)神奈川県/理事 二〇二三年十月 享年八十三歳
渡邊敦子(英紅)神奈川県/顧問 二〇二三年一月七日 享年九十六歳
助野節子(晴節)石川県/理事 二〇二三年一月十二日 享年八十四歳

清水しげみ(紫洗)東京都/理事 二〇二三年二月一日 享年八十八歳
原菊枝(紫芳)東京都/理事 二〇二三年二月二十五日 享年九十九歳
小松美恵(紅恵)高知県/理事 二〇二三年三月三日 享年九十四歳
柳原恵美子(香緑)東京都/理事 二〇二三年三月十日 享年九十三歳

お詫びと訂正
『草』278号の26ページ「草月文化活動支援基金」におきまして、記載に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。
【誤】五條尚玉
【正】伍篠尚玉

入会金・再入会金が不要の講座も。この機会に、ぜひご受講ください！

本部教室 花材費料金改定のお知らせ

いつも本部教室をご受講いただきありがとうございます。近年の原材料費や運賃の上昇によるコストの高騰のため、2023年4月より花材費を1把970円から1,000円に値上げさせていただきます。何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性があります。予めご了承ください。開講予定や申込受付等に変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課までお問い合わせください。

サブテーマ「線色塊」

2023年度は「草月ってなんだろう？」を深掘りするためにサブテーマ「線色塊」を設け、複数の授業で取り上げます。創流100周年に向けて、草月いけばなの原点でもある「線色塊」と改めて向き合ってみましょう。



昨年の家元研究科では「歴代家元花器にける」と題したデモが行われました。中央の写真は霞、右は宏の花器を使用した作品。

創流100周年に向けたテーマとして「草月ってなんだろう？—What's SOGETSU?—」を発表しました。(略)今年度はこのテーマをさらに深く掘り下げるため、「線色塊」というサブテーマを設けました。

「線」「色」「塊」は、いけばなを構成する三大要素です。『草月カリキュラム3』のテーマにもなっていますので、草月を習っている方であれば、きっと幾度となく耳にしていることでしょう。枝の伸びやかな線を強調したり、

花の色をきわ立たせるために配色を工夫したり、花を密集させてボリューム感をもたせたりと、「線」「色」「塊」の三つの要素を意識しながら構成することで、作品はでき上がります。(略)「線色塊」を意識し、植物とじっくり対話してみてください。その結果、いつもとはまるで違う作品になることもあるでしょう。それこそがいけばなの醍醐味ですし、自分の表現の幅を広げるきっかけにもなるはずです。

P.2～3「だから、おしゃべりはやめられない」より

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。

入会金・再入会金が不要

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/18時	10時30分/14時	10時30分/14時		
5月	19日	20日	22日	わたしの「線」	日向洋一
6月	23日	24日	26日	色を意識	家元

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。●受講料：12,200円(花材費込み)

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。ワンレッスン受講することもできます。今年度より講師が増員されます。

再入会金が不要

5月	火曜	9日	五十野雅峰	16日	片山 健	23日	加藤久美子
	木曜	11日	篠崎尚雅	18日	隅出美泉	25日	坂口水恵
6月	火曜	6日	中村草山	13日	隅出美泉	20日	加藤久美子
	木曜	8日	篠崎尚雅	15日	坂口水恵	22日	岡崎 忍

●原則として6日間、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/18時(各日3回開講) ●入会金：11,000円 ●月謝：12,040円(月3回分・花材費別) ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,500円・花材費込み/都度払い)。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

5月	1日	石川己青	6月	5日	福島光加
	8日	福島光加		12日	坂口水恵
	15日	石川己青		19日	石川己青
	22日	高木水染		26日	高木水染
	29日	坂口水恵			

●毎週月曜日 ●10時30分～12時30分 ●受講料：5,660円/1回(花材費込み。月4回目以降は5,300円) ※証書申請可能。 ※祝日は休講となります。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。今年度より講師が増員されます。

再入会金が不要

5月	12日(金)	岩淵幸霞	6月	9日(金)	岩淵幸霞
	26日(金)	岡崎 忍		16日(金)	西山光沙
	31日(水)	澤田晃映		21日(水)	岡崎 忍

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●18時(受付：17時30分～19時30分) ●入会金：11,000円 ●月謝：12,040円(月3回分・花材費別) ※家元教室・家元研究科への振替ができます。 ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,500円・花材費込み/都度払い)。

【本部男子専科 オンライン展覧会】

1982年、第三代家元・勅使河原宏が創設した本部男子専科は、2022年に40周年を迎えました。この大きな節目の年を皆さまとともに祝いし、初めてのオンライン展覧会を開催します。昔家元をはじめ、この10年間に本クラスをご担当くださった講師の方々よりお祝いの言葉もいただき、本部男子専科はここに41年目の新しい一歩を踏み出します。日本全国にとどまらず、海外も含め33名の出品者の個性豊かな作品をぜひご覧ください！



【公開情報】

草月流ホームページ→イベント→「本部男子専科オンライン展覧会」、または右のQRコードより、どなたでも無料でご覧いただけます。

公開期間：2023年4月1日～5月31日(予定) <https://www.sogetsu.or.jp>



公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
5月20日(土)	【線・色・塊】 墨あそび 墨の幅広表現+植物	 片山紅早	墨による表現は、使用する紙質や筆記用具、墨の種類の違いで様々なデザインが可能です。今回は文字を書くのではなく、墨を使って紙に個性豊かな墨象作品を作ります。 出来上がった墨象作品と植物素材を組み合わせたいけばな作品を制作して、新たな展開を楽しみましょう。
6月24日(土)	【線・色・塊】 空間の美！ 「ちょうちんひご」と色和紙、 銀箔で個性豊かに	 隅出美泉	柔軟性の豊かなちょうちんひごで、立体のオブジェを制作します。 そこに、空間と色彩を意識しながら色和紙と銀箔を貼り、自由に変化させます。 最後に植物をプラスして、机上、吊り花、掛け花、床上がりなどの作品に仕上げましょう。

●授業時間：10時30分～16時 ●受講料：12,970円（材料費・昼食代込み）/入会金なし
●申込資格：草指連会員 ●定員：40名 ●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。
[郵便振替口座] 口座番号：00180-6-119808 / 加入者名：(一財)草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に①受講希望日②草指連会員番号③名前④(お持ちの方は)メールアドレスをご記入ください。●申込締切：開催日の1週間前(ただし定員になり次第締め切ります) ※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。※お申込み後でも、翌月以降(年度内)に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費(材料費および昼食代)をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

随時募集 陶芸コース

自作花器を作りたい方、ものづくりが大好きな方大歓迎！
初心者、入門の方もお待ちしております。

植物が持っている美しさだけに頼らない造形力を身に付けるため、1981年に宏前家元の提唱で開講した「造形科教室」。
幅広い角度から「創造する精神」を学ぶ本講座は、草月の大きな特色となっています。
陶芸コースが2023年度受講生を募集！ 草月流を学んでいる方ならどなたでもご受講いただけます。



自作花器づくりに挑戦してみませんか。なごやかな雰囲気です。ゆっくり制作できます。

受講日
(原則月2回 火曜日、水曜日) 5月30日、31日、6月27日、28日、7月25日、26日、9月26日、27日、11月7日、8日、 12月19日、20日、2024年1月23日、24日、2月20日、21日

●講師：飛松弘隆 ●授業時間：11時～16時 ●受講料：年間8回コース 101,620円、年間5回コース 71,240円(※焼成費、送料別途)、体験レッスン 15,000円(未経験者対象、1回のみ、焼成費と送料込み) ●申込資格：草月流学習者(入門の方からご受講いただけます) ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどに、①名前②草指連会員番号③住所④電話番号⑤(お持ちの方は)メールアドレスをご記入の上、「造形科陶芸コース」受講希望の旨を教室運営課までお知らせください。●申込締切：随時お申込みいただけます。

家元研究科

受講者自らの植物表現を追求し、感性と技術に磨きをかけるクラスです。
新入会・再入会大歓迎。AT 賞選考対象クラス。

入会金・
再入会金が不要

	金曜	土曜	一創流 100周年に向けて— 草月ってなんだろう？	講師
	14時30分	10時30分 / 14時30分		
5月	19日	20日	2027年の創流100周年へ向け、新たなテーマが掲げられました。 「私はなぜ花をいけるのか?」、「私が目指す植物表現とは?」、「私が追求したい素材は?」、「自由花って何?」これらの問いに対する答えを追求し続け、あなたにとっての「草月」を探求しましょう。	家元
6月	16日	17日		竹中麗湖
7月	14日	15日		家元

●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●受講料(家元)：12,200円(花材費込み) / (本部講師)：10,100円(花材費込み)
●授業開始の20分前から受付を開始します。

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。
たっぷり勉強できる充実の2時間。

再入会金が不要

5月	金曜	12日	石川己青	26日	加藤久美子	6月2日	岡本青珠
	土曜	13日	〃	27日	〃	3日	〃
6月	金曜	9日	中田和子	23日	石川己青	30日	澤田晃映
	土曜	10日	〃	24日	〃	7月1日	〃

●月3回 金曜・土曜 ●金曜(14時30分/18時30分)、土曜(10時30分/14時30分) ●入会金：11,000円 ●月謝：11,000円(月3回分・花材費別) ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日時・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能(4,500円・花材費1,700円/都度払い)。 ※見学可能。

土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

世界中のどこからでも参加できる「オンライン家元教室」。東京・草月会館または京都・草月WESTの「家元教室」に在籍している4級師範以上の方、あるいはテキスト3・4を履修中の普通級の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

【お問い合わせ・お申込み】

草月WEST / TEL: 075-366-3647 E-mail: west@sogetsu.or.jp



公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
6月21日(水)	段ボールで柿渋の器作りを！	 平石丹珠萌	ダンボールを細くカットして好みの形(器)を作っていきます。 投入もOK、凹みもOK。 オリジナルの形に和紙を貼り、最後に柿渋を！

●授業時間：13時～16時 ●受講料：4,400円(素材費別) ●定員：20名 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切：開催日の前々週の週末(ただし定員になり次第締め切ります)

SOCETSU WEST 草月 家元教室いけばな展

2023年5月6日(土)・7日(日)

10時～18時(最終日は17時まで)

草月WEST 入場無料

草月WESTの家元教室に所属している方(入門の方から理事の方まで)のいけばな展です。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

お問合わせ [草月WEST] TEL: 075-366-3647 / E-mail: west@sogetsu.or.jp



2023年度の本部講師・助手をご紹介します。

本部講師 ※五十音順

秋山美晴 Akiyama Miharu
石川己青 Ishikawa Misei
石倉菘清 Ishikura Shosei
五十野雅峰 Isono Gaho
岩淵幸霞 Iwabuchi Koka
江口玉枝 Eguchi Tamae
榎本紅萩 Enomoto Koshu
大泉麗仁 Oizumi Reito
大久保雅永 Okubo Masanaga
岡崎 忍 Okazaki Shinobu
岡本青珠 Okamoto Seishu
小沢清香 Ozawa Seiko
粕谷星華 Kasuya Seika
片山 健 Katayama Ken
片山紅早 Katayama Koso
加藤久美子 Kato Kumiko
狩野朱紅 Kano Shuko

川名哲紀 Kawana Tetsunori
菊田汀佳 Kikuta Teika
久保丹啓 Kubo Tankei
元田紫葉 Genda Shiyo
坂口水恵 Sakaguchi Suikei
佐々木紅葉 Sasaki Koyo
澤田晃映 Sawada Koei
篠崎洵雅 Shinozaki Junga
杉岡宏美 Sugioka Hiromi
隅出美泉 Sumide Bisen
州村衛香 Sumura Eikou
関田育圓 Sekita Ikuen
高木水染 Takagi Suisen
多賀谷丹方 Tagaya Tanho
竹中麗湖 Takenaka Reiko
田淵章流 Tabuchi Shoryu
丹野霞園 Tan-no Kaen

中田和子 Nakada Kazuko
中村草山 Nakamura Sozan
中村美梢 Nakamura Mishow
西山光沙 Nishiyama Kosa
新田陸嘉 Nitta Norika
樋口翠翔 Higuchi Suisho
日向洋一 Hinata Yoichi
平石丹珠萌 Hiraishi Tanshubo
福島光加 Fukushima Koka
福永早苗 Fukunaga Sanae
細野葉霞 Hosono Yoka
前田早苗 Maeda Sanae
武藤星芳 Muto Seiho
本江霞庭 Motoe Katei
森 彩琳 Mori Sairin

本部助手 ※五十音順

東 和霞 Azuma Yorika
荒木香優 Araki Koyu
大向佐都 Omukai Sato
小野清翠 Ono Seisui
北内翠潤 Kitauchi Suijun
北島里夏 Kitajima Satoka

久保田芳生 Kubota Hosei
小林郷清 Kobayashi Kyosei
高橋紫門 Takahashi Shimon
谷口千恵子 Taniguchi Chieko
濱田成光 Hamada Seiko
早川邦彦 Hayakawa Hoko

丸山明峰 Maruyama Meiho
モランジュ真紀子 Morange Makiko
森島志鳳 Morishima Shiho
森田麗遊 Morita Reiyu
山上晶絵 Yamagami Shoe
横地鴻政 Yokochi Kosei

受講生募集

テキスト集中講座 2023 —線色塊に注目しながら—

今年度より水曜日開講に!

草月いけばなのエッセンスが凝縮された草月カリキュラムを、楽しく集中して学ぶことができる、草月 WEST オリジナル講座です。2023年度は、「草月ってなんだらう?」のサブテーマとして取り上げられる「線色塊」に注目しながら、テキストの理解を深めていきます。本講座ならではの個性あふれる講師陣も魅力です。ぜひこの機会に、今一度テキストに再チャレンジしてみませんか? 新規受講や継続の方もお待ちしております。年6回コースで、お休みした回はオンライン配信でフォローします。

受講日	講師	内容
5月24日(水)	 隅出美泉	色々な色 —色の魔術師になろう—
7月19日(水)	 澤田晃映	「控」がモノを言う! —大自然の凝縮—
9月20日(水)	 岡崎 忍	玄関扉やリビングの壁を 秋の花材でクールに演出
11月22日(水)	 岩淵幸霞	マッスとは? —「力感」を生み出すポイントを探る—
2024年1月24日(水)	 加藤久美子	花型法の総決算 —第八応用花型を克服せよ!—
3月13日(水)	 坂口水恵	剣山なしで大きく伸びやかに —春の花木で歓びを表現—

●授業時間: 13時～16時 全6回半日コース ●受講料: 44,000円(6回分前納、花材費別)
●申込資格: 草指連会員 ●定員: 20名 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切: 5月10日(水)

プロフェッショナルクラス

受講日	講師	内容
8月2日(水)、9月6日(水)、 10月25日(水) ^{※1} 2024年3月5日(火) ^{※2}	日向洋一 北山善夫(芸術家) 清水六兵衛(陶芸家) 市村富美夫(染色家) ※受講日順	プロフェッショナルクラス第33期は新たに芸術家の北山善夫先生を講師にお迎えし開講します。様々な分野の講師に学ぶことで、いけばなの表現・世界を広げるチャンスです! 皆さまのご参加をお待ちしております。

●授業時間: 10時30分～16時 ●受講料: 55,020円(4回分前納・昼食代込み・教材費別) ※10月25日は別途参加費が必要となります ●受講資格: 草指連会員 ●定員: 20名 ●申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●申込締切: 7月4日(火)

本部主催支部研究会・講習会

静岡県支部	5月7日(日)	研究会 静岡労政会館	大澤秀紅	☎ 090-3305-0995
山形県支部	5月21日(日)	講習会 山形国際交流プラザ・ビッグウイング	長谷部千仁	☎ 0238-23-5709
東京南支部	5月27日(土)	研究会 草月会館	泉知萩	☎ 03-3759-7860
東京北支部	5月28日(日)	講習会 草月会館	秋山美晴	☎ 090-2256-5360
大阪支部	6月25日(日)	研究会 草月WEST	島田真美楓	☎ 090-5135-9975

支部展

香川県支部展 ミニいけばな展 ～花遊覧～	～4月16日(日) 岩田神社	西山麗千	☎ 090-9452-0024
奈良県支部展 ーときのかなたへ 今ー	～4月16日(日) 平城宮跡歴史公園平城宮いざない館 他	福井靖星	☎ 090-3359-8977
東京西支部展(家元出品) Wow!! SOGETSU!	5月12日(金)～14日(日) 国営昭和記念公園	久保田芳生	☎ 042-521-1434
鳥取県支部展 支部統合35周年記念花展「花もよう」	5月26日(金)～28日(日) 米子天満屋 てんまやホール	秦野織匂	☎ 0859-34-2601
石川県支部展 「第20回石川県支部展奉納いけばな展・献花式」	6月2日(金)～4日(日) 尾山神社	岡部弘邦	☎ 090-1390-5594
東京南支部 第62回蘭友会らん展 ～蘭で遊ぶ～	6月8日(木)～11日(日) サンシャインシティ ワールドインポートマートビル 4階展示ホールA	泉知萩	☎ 03-3759-7860
東京南支部展 「花・讃・歩」(家元出品)	前期:9月14日(木)～16日(土)、後期:17日(日)～19日(火) 玉川高島屋S・Cアレーナホール・サロン	泉知萩	☎ 03-3759-7860
大阪支部展 「Hana ～心・遊・響」	9月15日(金)～18日(月) あべのハルカス近鉄本店ウイング館8階 近鉄アート館	島田真美楓	☎ 090-5135-9975

フラワーク

とらや赤坂本店	4月	4月27日まで	千石如創	赤坂見附
	5月	4月27日～5月29日	渡辺珠菜	
	6月	5月29日～6月28日	松井彩紅	
ザ・キャピトルホテル東急		常設	草月アトリエ	溜池山王・国会議事堂前
赤坂エクセルホテル東急		常設	草月アトリエ	赤坂見附
ホテルニューオータニ東京(ロビィ階)		～4月25日	川名哲紀	赤坂見附・永田町・麴町
		4月27日～5月7日	久保島一超	
		5月9日～6月6日	竹中麗湖	
横浜ベイホテル東急(B1階神楽口)		常設	深澤隆行	みなとみらい・桜木町
ラフォーレ原宿 GR8	1階	～6月下旬	深澤隆行	明治神宮前・原宿
	2.5階	～7月下旬	御手洗直己	明治神宮前・原宿
ホテルエミオン京都(笹屋伊織 別邸・3階ロビー)		常設	高嶺一染	梅小路京都西
東本願寺 宗祖親鸞聖人 御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃法要		5月7日まで	草月アトリエ	京都・五条
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで		4月17日～28日	石倉菘清	青山一丁目
		5月22日～6月2日	前田早苗	
		6月7日～24日	家元	
		6月26日～7月7日	岩渕幸霞	

このページに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、出版部 編集制作室までご報告くださいますようお願い申し上げます。

[出版部 編集制作室] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:info@sogetsu.or.jp

年間行事予定

～4月17日(月)	日本いけばな芸術中国展(岡山高島屋) ※家元通期出品
4月21日(金)・22日(土)	全国支部長会議
5月6日(土)・7日(日)	草月WEST 家元教室いけばな展
5月14日(日)～18日(木)	特別企画展「藍+茜 Indigo and Akane」(草月会館 5階日本間) ※詳しくはP.25をご覧ください。
6月3日(土)～11日(日)	花と器のハーモニー2023/いけばな七流派の家元が彩る洋空間 ※家元出品 (横浜山手西洋館7館、草月流はペーリックホール) ※日本の伝統文化である華道七流派によるいけばなと、世界各国の食器との競演。 ※6月3日(土)「いけばなLIVE」(家元出演/動画配信あり)同時開催。
6月7日(水)	財団理事会(草月会館/11時～)
6月7日(水)～22日(木) ※期間中断的に開催	草月いけばな展「花のソナタ」(草月会館 2階談話室) ※詳しくは表紙裏をご覧ください。
6月14日(水)	いけばなインターナショナル東京支部6月昼食会(ホテルニューオータニ東京) ※家元によるデモンストレーションあり
6月21日(水)	財団評議員会・財団理事会

【草月会館土・日・祝日特別開館日】草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。4月22日(土)、5月20日(土)、6月24日(土) ※草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

各地の展覧会

卯らら花(うららか) 笠原美和(日本画家) 村上和雅子 二人展	4月14日(金)～16日(日) 銀座画廊 美の起源	村上和雅子	☎ 090-2327-1821
Forms of Waves	4月21日(金)～23日(日) TERRITORY GALLERY(渋谷区)	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp
風薫る いけばなインスタレーション	4月24日(月)～30日(日) アスコット丸の内東京	石塚洗枝	☎ 090-5542-5354
草月いけばな展「ホテルにいけるIV 五月のかぜ」 同時開催 レッツ・トライ! デモンストレーション 9期グループ展	4月29日(土・祝)～5月1日(月) ホテル プリランテ武蔵野	ホテルにいけるIV 五月のかぜ	
		佐藤青幹	☎ 080-1350-5113
		9期グループ展	
加藤春和	☎ 090-1257-7217		
第4回小砂環境芸術祭 KEAT2023 美術・集落・風ー小砂の森	4月29日(土・祝)～5月7日(日) ※招待作家として参加 栃木県那珂川町小砂地区	木村爽陽	☎ 090-7830-7792
全国都市緑化仙台フェア いけばな+三味線デモンストレーション	5月4日(木・祝) ※出演:丹野霞園 青葉山公園 イベントステージ	丹野霞園	☎ 080-1832-1203
矢部社中花会 師 矢部桂萩先生を偲んで	5月5日(金・祝)・6日(土) きんせ旅館CAFE(京都市)	石走俊桂	☎ 090-6970-6464
前田星萌70周年記念社中いけばな展	5月5日(金・祝)～7日(日) 佐賀市歴史民俗館 旧古賀家	中島萌葉	eppu7nx5y3@yahoo.co.jp
栗林梅光・綿貫爽春グループ展「音色・リズム」	5月13日(土)・14日(日) ネットトヨタ愛媛株式会社	栗林梅光	☎ 089-978-2959
出村丹雅草&BUAISOU 石庭 藍と花	5月14日(日)～18日(木) 草月プラザ ※入場料1,000円	出村丹雅草	☎ 090-4500-0595
陶花人 辻野創葩展	5月24日(水)～30日(火) 阪神百貨店梅田本店 8階ハローカルチャー	辻野創葩	☎ 090-4761-0799
樹々の会40周年記念いけばな展「ここから」	5月27日(土)・28日(日) 富山県民会館 展示室	亀谷美樹	☎ 076-492-6120
丹野霞園展「結い」	5月27日(土)～31日(水) せんだいメディアテーク	丹野霞園	☎ 080-1832-1203
草月陶房 hana マルシェ	5月28日(日) 10時～16時 草月陶房 ※「第41回越前陶芸まつり」にあわせて開催	草月陶房	☎ 0778-32-2234
第24回 草月四季の会いけばな展	6月3日(土)・4日(日) 福野文化創造センターヘリオス(南砺市)	田村秀華	☎ 0763-22-2423
草月会山形県支部米沢地区2023いけばな展	6月10日(土)・11日(日) よねざわ市民ギャラリー ナセBA	星里香	☎ 0238-56-2137
高橋篁和を偲ぶミニ花展	6月11日(日) 小畑百花園 2階(広島市)	高橋篁赫	☎ 082-251-4572
からんとそーじゅーのふたり展 ぱーと2 たいせーもいるよ	8月3日(木)～7日(月) アメリカ橋ギャラリー(渋谷区)	橋本佳蘭	karan@ymail.ne.jp